

Color Gallery

ヘッドライン

Green & Sustainable Chemistry の新しい概念と普及・教育

洗たく洗剤から見る GSC

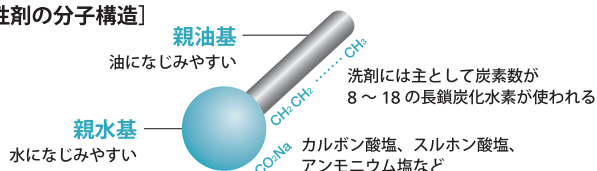
松本泰正

洗たく洗剤の開発にLCA（ライフサイクルアセスメント）を取り入れ、洗たくのすすぎを1回にすることで、消費者とともに洗たくに関わる環境負荷低減を実現。社会の変化を先取りして環境性能、洗浄性能を同時に満足させるイノベーションがどのように生まれたのかを紹介する。P56-59

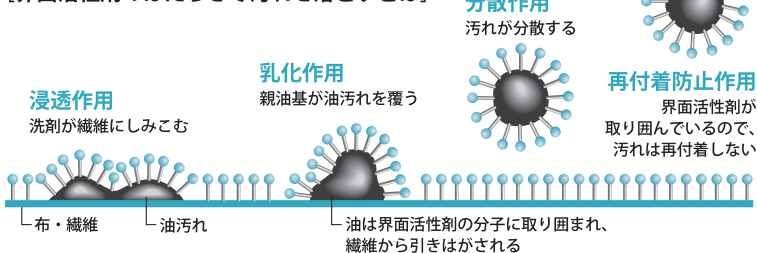
界面活性剤の構造と働き

界面活性剤は分子の中に水になじみやすい親水性の部分（親水基）と油になじみやすい親油性の部分（親油基）の両方をもった構造により、繊維の中にしみこむ浸透作用、親油基が油污れを覆う乳化作用、汚れを水中に分散させる分散作用、汚れが衣類に再付着するのを防止する再付着防止作用などの働きを示す。

[界面活性剤の分子構造]



[界面活性剤のはたらきで汚れを落とすとは]



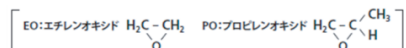
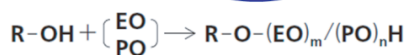
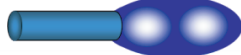
従来の界面活性剤

油性部 水性部



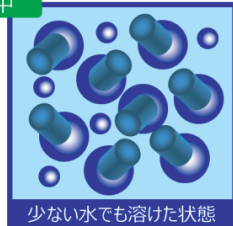
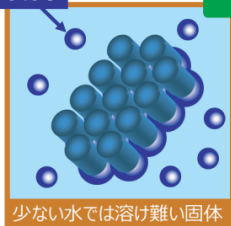
新開発ノニオン性界面活性剤

油性部 水性部



水分子

製品中



新開発ノニオン性界面活性剤

環境負荷低減を実現する技術開発は、洗浄力を維持しつつ、超濃縮、高すすぎ性を同時に実現するものを目指し、広い濃度範囲、温度範囲で液晶構造を形成しない界面活性剤を開発した。